

第 **100** 期

# 株主通信

2022.4.1 ▶ 2023.3.31

証券コード：6768

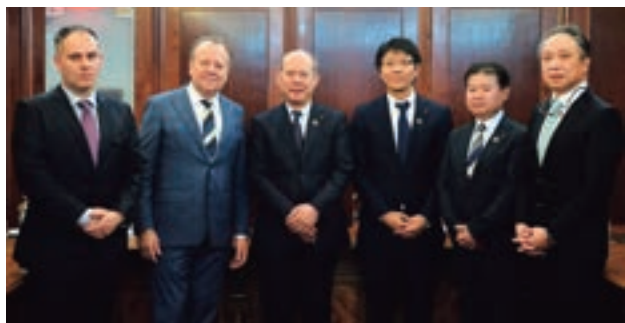
**Energize  
the  
Future  
100**

The 13<sup>th</sup> Medium-term Management Plan 2022-2024



## トピックス

ルーマニアに電子部品事業の新拠点設立  
チャージャを始めとするモジュール製品を生産



ルーマニア投資庁との合同プレスリリース

# オンリーワン・カンパニーの実現を目指します。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より当社グループへの厚いご支援を賜り心より御礼申し上げます。

2023年3月期は、原燃料価格や為替の変動、インフレーションの進行、欧米における金融市場の混乱など不安定な状況が継続しました。エレクトロニクス市場においては、半導体不足による自動車の減産や巣ごもり需要の反動による減速が見られた一方、エアコンなどの家電やロボットなどの産業機械は年度を通じて底堅い需要が継続しました。

当社では、堅調な需要への対応や価格改定の浸透に加えて円安効果もあり、売上高は過去最高を記録し、営業利益および経常利益もそれぞれ大幅に増加しました。創業100周年を迎える2025年3月期を最終年度とする中期経営計画「Energize the Future 100」の初年度として、好スタートを切ることができました。

中期経営計画2年目となる2024年3月期は、電子部品事業の主要顧客における在庫調整、電子化学実装事業の減速など、厳しいスタートとなる予想です。しかし、年度後半にかけて需要は回復に向かうと想定されます。引き続き最終年度の目標達成に向けて、重点施策を中心に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長 **浅田 昌弘**

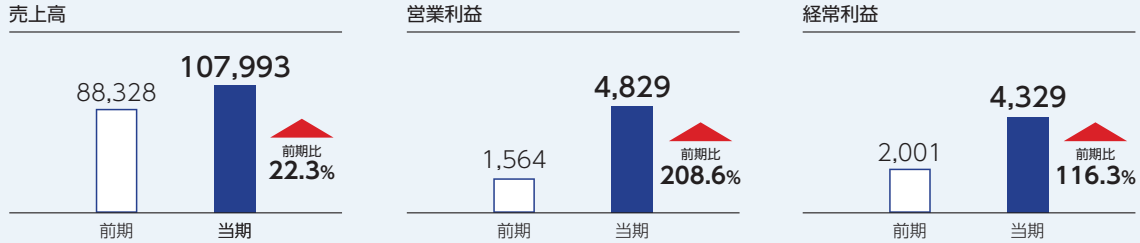


# 決算情報

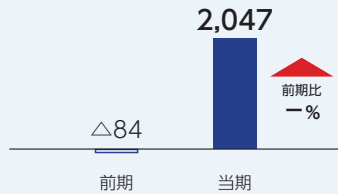
## 業績概況

- ◆ 堅調な需要、価格改定、為替影響などにより全事業部門、増収。過去最高の売上高
- ◆ 営業利益は、電子部品の収益改善、情報機器の赤字幅縮小が寄与し、大幅増益
- ◆ 当期純利益は、海外連結子会社の減損等の特別損失計上の影響を受けるも、黒字転換

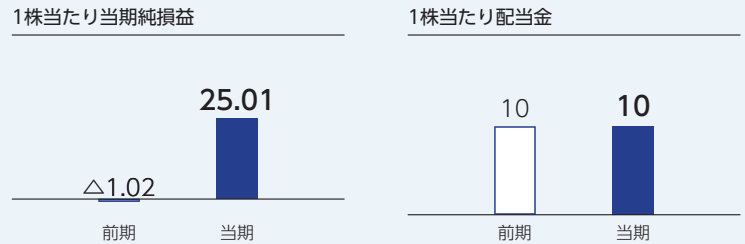
### ■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



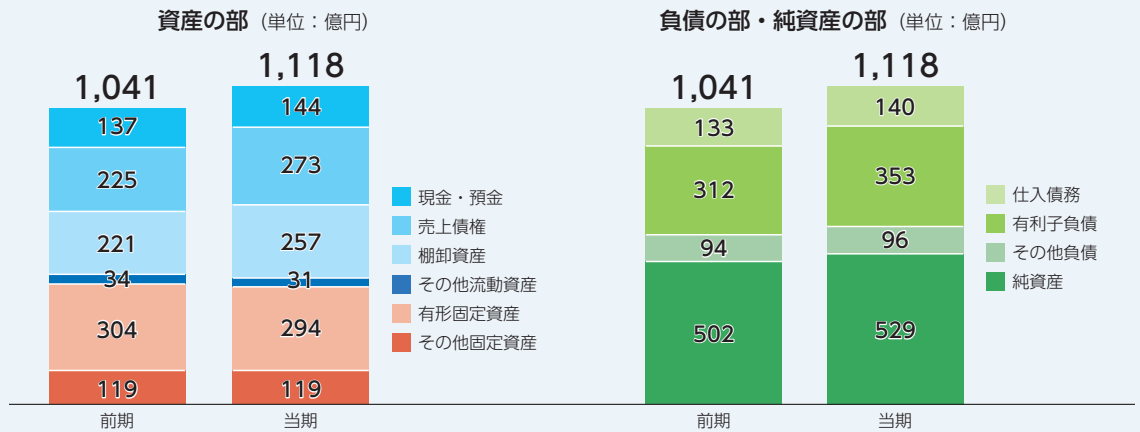
### 親会社株主に帰属する当期純損益



### ■ 1株当たり情報 (単位: 円)



## 連結貸借対照表の概要



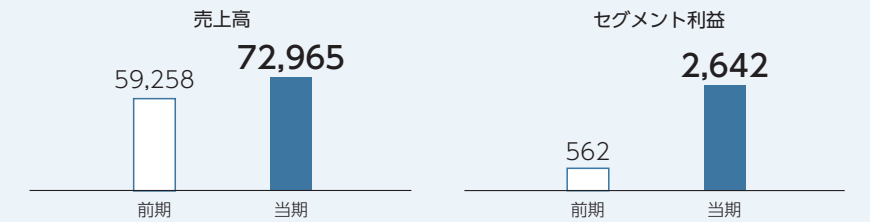
## セグメント情報

### 情報機器関連事業 (2%)

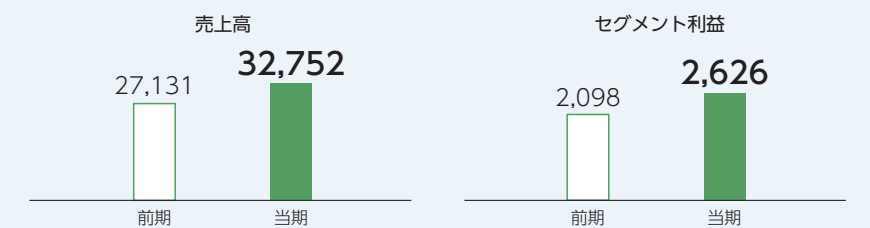


※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

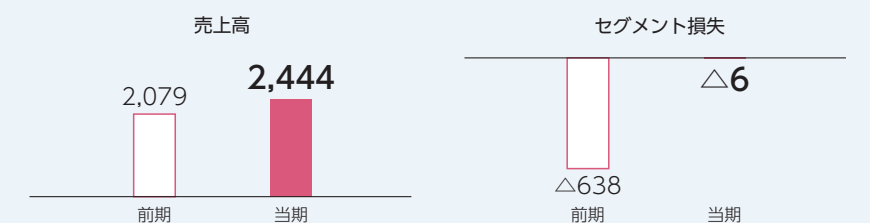
### ■ 電子部品関連事業 (単位: 百万円)



### ■ 電子化学実装関連事業 (単位: 百万円)



### ■ 情報機器関連事業 (単位: 百万円)



# トピックス

## 第13次中期経営計画「Energize the Future 100」の進捗

### グループ財務目標

- ◆ 中期経営計画1年目は、当初目標を大きく上回る好スタート
- ◆ 2年目は一時的に減速するも、引き続き最終年度の目標達成を目指す

### 第13次中期経営計画

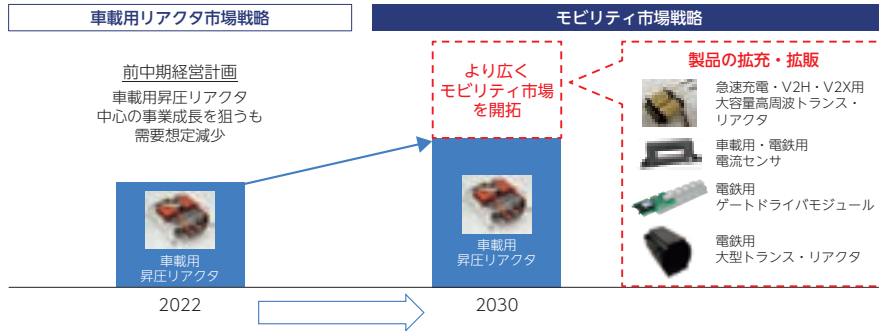
■ 財務目標	2023.3期 計画	2023.3期 実績	2024.3期 計画	2024.3期 予想	2025.3期 計画
営業利益	30億円	48億円	50億円以上	46億円	60億円以上
営業利益率	3.2%	4.5%	5%	4.3%	6%
ROE		4.0%			8%

■ 財務目標達成のためのガイドライン	2023.3期 計画	2023.3期 実績	2024.3期 計画	2024.3期 予想	2025.3期 計画
連結売上高	940億円	1,080億円	≒1,000億円	1,080億円	1,000億円以上
ROIC		3.8%			6%

### モビリティ市場向け電子部品事業展開

- ◆ 車載用昇圧リアクタ中心の戦略から、より広くモビリティ市場全体を視野に入れ挽回を図る
- ◆ EV向け、EVインフラ向け、電鉄向けなどへ市場拡大。工場稼働率向上と事業収益の改善を目指す



### 部門間連携によるモビリティ市場向け製品開発

- ◆ 電子化学実装事業の素材技術を生かした部品開発⇔部品開発の機敏性を生かした電子化学材料開発
- ◆ 各事業部の強みを生かし、グループ全体の開発を推進



### 欧米市場向け売上拡大

- ◆ カーボンニュートラルに向けた世界的な動きに対応し、ビジネス機会のある欧米での取り組みを強化
- ◆ メキシコおよびルーマニアで生産能力を増強し売上拡大を図る

### 欧米生産能力の強化

#### ルーマニアに電子部品事業の生産拠点を新設

- ・チャージャを始めとしたモジュール製品を生産予定
- ・欧州の再エネや電動化の推進による需要拡大に対応
- ・生産拠点の地理的分散を図る



ルーマニア拠点の県知事・市長との会談の様子

#### メキシコ工場、2024年3月期後半に工場増設完了予定

- ・北米の再エネ関連等の堅調な需要に対応し、大型トランス・リアクタの生産能力増強

### サステナビリティ戦略

#### 人材の多様性確保 (日本国内)

項目	2023.3期 実績	2025.3期 目標
女性管理職比率	7.8%	10.0%
外国人管理職比率	0.6%	5.0%
中途採用管理職比率	40.3%	50.0%

#### 働きがい改革の推進

- ・初のグローバル従業員エンゲージメント調査実施。年3Ptの上昇を目指す
- ・心理的安全性プログラム展開





## 会社の概況 (2023年3月31日現在)

- 会社名 株式会社タムラ製作所  
TAMURA CORPORATION
- 設立 1939年11月21日
- 資本金 11,829百万円
- 従業員数 連結 4,576名 単独 889名
- ホームページアドレス  
<https://www.tamura-ss.co.jp/>
- 本社 東京都練馬区
- 事業所 埼玉県(坂戸市・入間市・児玉郡・狭山市)

- 取締役 (2023年6月28日現在)

代表取締役社長	浅田 昌弘	社外取締役(監査等委員)	窪田 明
取締役常務執行役員	橋口 裕作	社外取締役(監査等委員)	渋谷 晴子
取締役上席執行役員	南條 紀彦	社外取締役(監査等委員)	今村 昌志
取締役上席執行役員	齋藤 彰一	社外取締役(監査等委員)	豊田 明子
取締役執行役員	田村 陽平	取締役(監査等委員)	横山 雄治

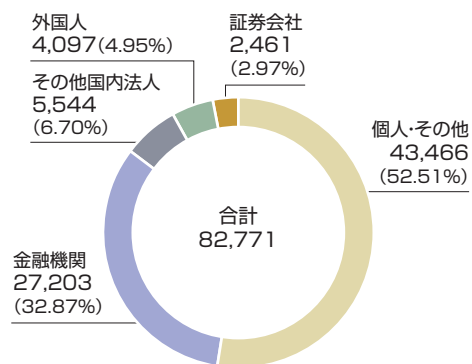
## 株式の概況 (2023年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 ..... 252,000,000 株
- 発行済株式の総数 ..... 82,168,201 株 (自己株式 603,272 株を除く)
- 株主数 ..... 29,514 名
- 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,836	13.18%
タムラ協力企業持株会	3,560	4.33%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,400	4.13%
株式会社三井住友銀行	3,200	3.89%
株式会社みずほ銀行	1,999	2.43%
株式会社りそな銀行	1,911	2.32%
三井住友信託銀行株式会社	1,412	1.71%
タムラ製作所従業員持株会	1,178	1.43%
田村直樹	1,146	1.39%
住友生命保険相互会社	1,018	1.23%

(注) 持株比率は、自己株式 603,272 株を除いて算出しております。

■ 所有者別株式分布状況 (単位:千株)



(注) 自己株式 603,272 株 (0.72%) は個人・その他に含まれております。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法 電子公告

<https://www.tamura-ss.co.jp/jp/finance/index.html>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>  
(ホームページURL)

## 株式会社タムラ製作所

<https://www.tamura-ss.co.jp/>

当冊子に関するお問い合わせ先:

〒178-8511 東京都練馬区東大泉一丁目19番43号

TEL 03-3978-2111

